

福井県における越冬ガンの棲息分布

林 哲*

Distribution of Wintering Geese, White Fronted Goose and Bean Goose, in Fukui Prefecture.

Tetsu Hayashi

Fukui Prefectural Wildlife Protection Center, Wakisanga-cho
Fukui-shi, Fukui 910-21.

はじめに

日本で越冬する水鳥の棲息環境は悪化し、減少する一方である。

ガン類の越冬地も、全国でわずか9ヶ所しかなく、マガン3ヶ所（石川県加賀市鴨池、新潟県佐渡、宮城県伊豆沼）、ヒシクイ5ヶ所（石川県加賀市鴨池、滋賀県琵琶湖北部、新潟県朝日池、福島潟、宮城県伊豆沼）、コクガン3ヶ所（宮城県仙台灣、青森県むつ湾、北海道渡島支庁函館湾）、これだけである（横田ら、1982）。

ガン類の越冬地と越冬期間の意義は、春の繁殖のための栄養補給期（地）であり、番い形成準備期（地）であり、何よりも厳しい冬の避寒の時（地）である。この越冬地の減少、消失など環境状況の変化は、ガン類の地域個体群の繁殖を阻害し、初めは外因的に、ついで徐々に内因的に作用しつつ地域個体群の絶滅を導く道であるといえよう。

本県は、我国のガン類越冬地の1つ、加賀市鴨池に隣接し、その棲息分布が知られているが、特に、近年、片野の鴨池の越冬個体群が福井平野をしばしば利用していることが判明してきており、福井平野の存在が非常に重要な意味をもってきた。

本稿は、このような状況にかんがみ、福井県（福井平野等）におけるマガン、ヒシクイの越冬渡来地の棲息分布を明らかにし、その保護施策に資する目的でまとめたものである。

なお、本報告は、朝倉外雄、榎本二郎、池崎和男、木股弘、近藤吉栄、組頭五十夫、牧田活宜、松村忠祀、野村悟志、斎藤仁、阪本周一、竜田勇、上木泰男の各氏の観察記録によるところが多く、謝してお礼申しあげる。

調査方法

調査は、野外調査及び資料調査、聞きとり調査によって行い、これを確認地籍、年月日、羽数、種類の各項目に分けて整理した。

本稿は、渡来分布地を把握するため、1960年以降に目視された地籍の確認を主要調査し、flying（飛翔、通過）観察例は、flyingの確認地籍と分るように記載した。

* 福井県鳥獣保護センター

調査結果と考察

1 福井県におけるガン類の渡来状況と渡来地籍

(1) ガン類の渡来状況

本県のガン類は、マガソとヒシクイが渡来し、越冬することが知られていたが（福井県、1982, 環境庁、1984），近年、コクガソ、ハイイロガソが確認され、4種認められている。

このうち、福井平野等に、定期的に渡来するのは、マガソとヒシクイ(*Anser fabalis middendorffii*)である。

この2種のガソは例年9月下旬～10月上旬に渡来し、翌年2月下旬～3月上旬に渡去する。渡来数は、マガソで、最少数8羽、最多数300羽、平均91羽認められ、ヒシクイで、最少数5羽、最多数340羽、平均102羽が確認されている（附表1）。

また、気象状況によって異なるが、本県に渡来するガソ類は、片野の鴨池を主要な就眠、休息地にしており、概して、夕方、福井平野等の採食地へ向い、採餌地及びその周辺で夜間を過し、朝方に鴨池に帰るパターンをとっている。このため、通過コースとなっている北潟湖周辺では、定時にそのflyingが認められることが多い。

(2) ガソ類の渡来地籍

本県における越冬ガソの渡来地は、13市町53地籍で認めることができた（表1、図1）。これらのうち、福井市で19地籍確認されたが、後述するように、現在渡来しなくなったところが多い。

ついで、三国町、清水町でそれぞれ6地籍、金津町では5地籍認められたが、通過記録が2地籍で、他の3地籍は近年の報告がなく、渡来地が減少していると思われた。また、芦原町及び坂井町では、それぞれ4地籍あったが、芦原町の2地籍は、通過記録であり、舟津の記録（ヒシクイ、40羽、1982、福井県）もflying－通過確認の可能性が高い（附表）。

したがって、金津町、芦原町では、flyingの記録が多い傾向にある。これは、この地域が、前述したように、片野の鴨池の越冬個体群の飛行－通過コースになっているためと思われる。

その他、鯖江市、武生市、松岡町、朝日町、春江町、丸岡町、今庄町でそれぞれ1～2地籍認められたが、春江町（正善）、今庄町（広野）、武生市（丸岡）での確認は、flyingの観察例であった。結局、飛来確認例が認められた53地籍のうち、通過(flying)記録の11地籍と最近5ヶ年以降の確認例のない20地籍を除外した22地籍が近年の渡来分布地と推定される。

2 福井県における越冬ガソの棲息分布

(1) マガソの分布

本県のマガソの観察例は、福井市の12地籍を含む9市町27地籍で認めることができた。主な分布地は、(1)坂井郡三国町楽円や坂井町高柳等九頭竜川右岸の平野部、(2)福井市高柳、大和田等福井市の東北平野部、(3)福井市殿下、上北野等福井市東部の平野部、(4)福井市板垣、六条等福井市南東部の平野部、(5)鯖江市川去から丹生郡清水町真栗に至る平野一帯があげられる（図1、表2）。このうち、(2)の福井市東北平野部と(3)の福井市東部の平野部は、最近の観察記録がないため、近年になって渡来しなくなった地域と思われる。

福井県における越冬ガンの棲息分布

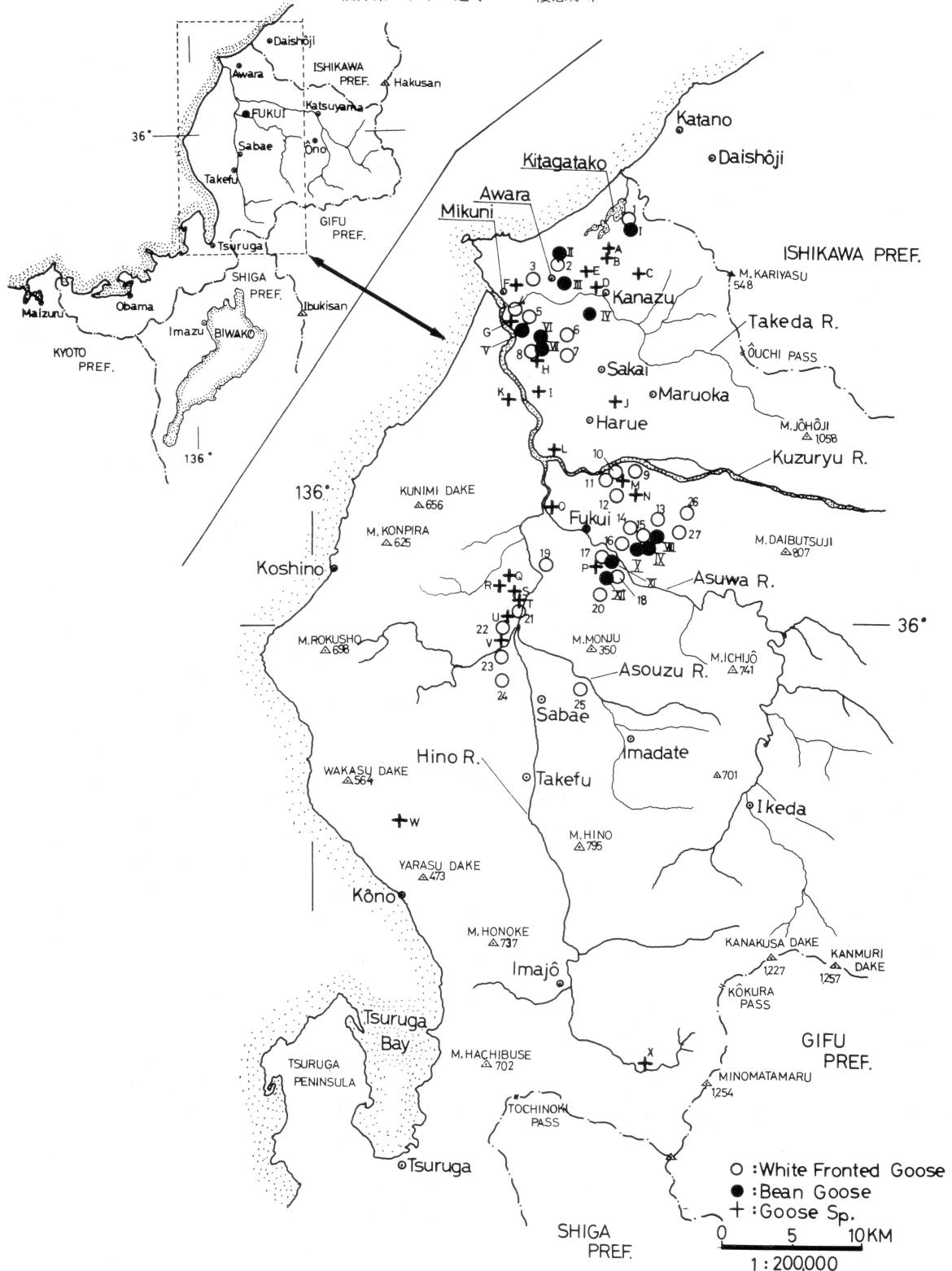


Fig.1 Distribution of Wintering Geese in Fukui Prefecture, 1960-1984 .

表1. 福井県における越冬ガンの確認地籍（1960－1984）

確 認 地 籍		数	確 認 地 籍		数
1 福井市	六条, 板垣*, 同保*, 殿下*, 曾万布*, 和田東*, 高木*, 高柳*, 大和田*, 開発*, 上北野*, 堅達*, 下江守*, 河北, 新保*, 木田(F), 砂子坂, 地藏堂(F), 山室	19	7 鯖江市	川去*, 橋立*	2
			8 吉田郡松岡町	吉野*, 西野中*	2
			9 武生市	丸岡(F)	1
2 坂井郡三国町	請地, 楽円, 加戸, 川崎, 覚善, 石丸	6	10 丹生郡朝日町	田中	1
3 丹生郡清水町	清水山, 甑谷, 真栗, 島寺, 新保, 杉谷(F)	6	11 坂井郡春江町	正善(F)	1
4 坂井郡金津町	細呂木(F), 坂ノ下(F), 嫁威*, 柿原*, 宮谷*	5	12 ハ 丸岡町	舟寄	1
5 ハ 芦原町	轟木, 井江葭(F), 駅前(F), 舟津(F?)	4	13 南条郡今庄町	広野(F)	1
6 ハ 坂井町	木部東, 高柳, 大閑, 下兵庫	4	計		53

* 近年(5ヶ年)の確認報告例のない地籍(合計20地籍)。

(F) Flying(通過一飛行)の確認地籍(合計11地籍)。

Table 2. Places observed of Wintering Geese in Fukui Pref., 1960-1984.

White Fronted Goose	Bean Goose	Goose sp.
1. Kanazu-cho (F) 細呂木	I. Kanazu-cho (F) + 細呂木	A. Kanazu-cho 嫁威
2. Awara-cho 舟津	II. Awara-cho (F)? 舟津	B. ハ 柿原
3. Mikuni-cho 加戸	III. ハ (F) 駅前	C. ハ 宮谷
4. ハ 請地	IV. ハ 轟木	D. ハ (F) 坂ノ下
5. ハ 楽円	V. Mikuni-cho 石丸	E. Awara-cho (F) 井江葭
6. Sakai-cho 大閑	VI. Sakai-cho 木部東	F. Mikuni-cho 覚善
7. ハ 下兵庫	VII. ハ 高柳	G. ハ 川崎
8. ハ 木部東	VIII. Fukui-shi 殿下	H. Sakai-cho 木部東
9. Fukui-shi 大和田	IX. ハ 岡保	I. Harue-cho (F) 正善
10. ハ 高柳	X. ハ 曾万布	J. Maruoka-cho 舟寄
11. ハ 高木	XI. ハ 板垣	K. Fukui-shi 砂子坂
12. ハ 開発	XII. ハ 六条	L. ハ 山室
13. ハ 堅達		M. ハ 高柳
14. ハ 上北野		N. ハ 新保
15. ハ 岡保		O. ハ (F) 地藏堂
16. ハ 和田東		P. ハ (F) 木田
17. ハ 板垣		Q. Shimizu-cho 杉谷
18. ハ 六条		R. ハ 島寺
19. ハ 下江守		S. ハ 新保
20. ハ 河北		T. ハ 清山水
21. Shimizu-cho 清水山		U. ハ 真栗
22. ハ 甑谷		V. ハ 甑谷
23. Asahi-cho 田中		W. Takefu-shi (F) 丸岡
24. Sabae-shi 川去		X. Imajo-cho (F) 広野
25. ハ 橋立		
26. Matsuoka-cho 吉野		
27. ハ 西野中		

(2) ヒシクイの分布

ヒシクイの観察例は、5市12地籍で認めることができたが、前節のマガンの確認地籍に比べるとその記録は少なかった。これは、マガンとヒシクイ (*Anser fabalis middendorfi*) の生態的特性による差異と推察される。すなわち、マガンは、広く水田の落モミや陸上植物の葉や葉芽を食性としている(清棲, 1965)のに比べて、ヒシクイ (*A. S. middendorfi*) は沼沢地を採食地として、水生植物のマコモやヒシ等に依存している(呉地, 1983)。福井平野では、20~30年以前には、平野の各地で湿地や沼地あるいは、これに類する水辺環境が存在していた(近藤吉栄氏、奥井亭才氏談)が、10~20年以来の水田開発、河川改修等でほとんど消失しているため、このような環境に依存しているヒシクイ (*A. S. middendorfi*) は、分布の後退を余儀なくされたと思われる。

福井県における12地籍の分布地は、以下の4地域に分けることができた。(1)福井市殿下、曾万布等の福井市東部平野、(2)福井市六条、板垣等の福井市南東平野部、(3)三国町石丸から坂井町木部東に及ぶ九頭竜川河口流域部、(4)芦原町ー金津町の一部の地域である。このうち、(1)と(2)は、近年の観察例がなく、前述した理由により渡来できなくなつたと思われる。また、芦原町と金津町(4)の観察例についても、flying の確認が多いので、現在、福井平野でヒシクイが飛来している場所は、三国町～坂井町の九頭竜川河口部一帯と思われる(Fig 1. Table 2)。

3. 福井県におけるガン類渡来地の減少傾向について

本県での越冬ガンの渡来地の分布略図は、Fig 2 に示したように、A~G の7地域に分けられる。このうち、前節で指摘したように、福井市北東部、東部(E, F 地区)での最近のガン類の観察例がなく、G 地区の福井市南東部でも確認例が少なくなっている。これは、福井市周辺地域の住宅開発等の都市化現象による影響と考えられる。

また、D 地区の清水町一円と鯖江市の一部についても福井、鯖江両市のスプロール化が進行し、住宅開発が行われているため、渡来しなくなる可能性の高い地域と推測できる。

本県において、ガン類が定的に認められる地域は、A~C 地域であるが、A 地域も又、農水省による坂井丘陵農業改善事業によって、その渡来地が徐々に開発され、現在では、片野の鴨池への飛行コースに利用されることが多くなっていると思われる。

B~C 地域についても、九頭竜川河川整備事業(建設省)が、河口部一帯に及ぶことになれば、ヒシクイの採食地が壊滅するところとなり、渡来しなくなる可能性があると言えよう。

少なくとも、このC 地域の九頭竜川河口部については、石川県~福井県に越冬するヒシクイ個体群のほとんどがヨシ、マコモ、ヒシなどの採餌地として利用しているため、きわめて貴重な地域であり、もし、この地域のアシ原がなくなることになれば、日本で5ヶ所しかないヒシクイの越冬地の1ヶ所が消滅すると推察される。

ガン類の天然記念物としての文化価値の意味をはかり、又、このガン(ヒシクイ)の生存を支えている九頭竜川河口部のアシ原の生態的な重要性を認識して、この地域を保護・保存しなければならない。河川担当当局の熟慮を期待したい。

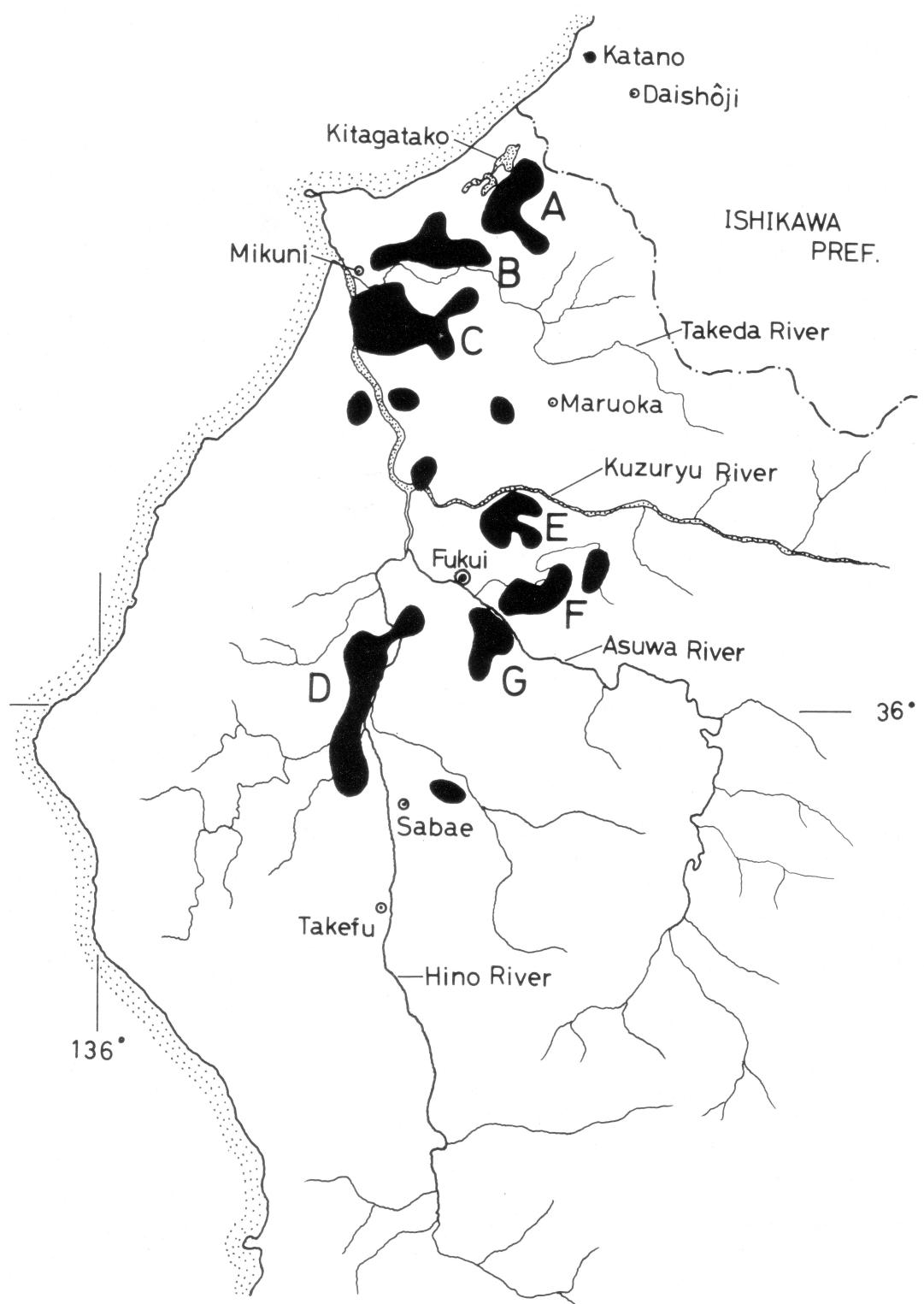


Fig. 2 Outline distributed of Wintering Geese in Fukui Pref., 1960-1984.

摘要

- (1) 1960年以降の福井県におけるガン類の渡来地を分析したところ、13市町で53地籍で分布を認めることができた。
- (2) 53地籍は、主に7地域の分布地に分けられ、最近の主要な渡来分布地は、坂井郡三国町、芦原町、坂井町の九頭竜河口部とその流域周辺部、及び、丹生郡清水町一円と思われる。
- (3) 福井市郊外の分布地は、都市開発等によって渡来しない地域が多くなっていると推察された。
- (4) 本県におけるガン類の分布地は、ことごとく各種の開発にさらされており、強力な保護施策がなければ、渡来分布地は、もっと過少になると思われ、ひいては、福井平野に棲息分布するガン類地域個体群の絶滅を招くと思われる。

文献

福井県(1982), 福井県の鳥獣

環境庁(1984), 第15回ガンカモ科の鳥類の調査について

清棲幸保(1965), 日本鳥類大図鑑 講談社

呉地正行(1983), 日本にはオオヒシクイのはうが多かった。アニマ, 129号: 18-22.

横田義雄, 呉地正行, 大津真理子(1982), 日本のガンの分布, 羽数および生息状況, 鳥, 30, 149-161.

附表1(1) 福井県におけるマガソの観察地籍及び年月日

地籍	年月日, 羽数(n), 確認者
1. 坂井郡金津町細呂木	'82. Nov. 14 (F. 197 n)
2. " 芦原町舟津	'72. Mar. 9 (F. ? 300 n, 福井県)
3. " 三国町加戸	'84. Jan. 30 (185 n)
4. " 請地	'82. Feb. 11 (85 n) ~ Feb. 12 (22 n, K.I.)
5. " 楽円	'82. Nov. 28 (25 n, S.S)
6. " 坂井町大閑	(T.M), (Y.K)
7. " 下兵庫	(T.M), (Y.K)
8. " 木部東	'82. Oct. 28 (50 n, S.S), '82. Nov. 28 (75 n, S.S), '82. Nov. 29 (133 n, S.S) '82. Nov. 30 (160 n, J.E), '82. Dec. 2 (10 n, J.E)
9~17. 福井市大和田, 高柳, 高木, 開発, 堅達, 上北野, 岡保, 和田東, 板垣, 以上	('60, Y.K)
18. 福井市六条	'82. Feb. (100+), '60. (Y.K)
19. " 下江守	'75. Mar. 11 (8 n, Y.U), '75. Feb. 19 (F. 80 n, Y.U)
20. " 河北	(Y.U)
21. 丹生郡清水町清水山	'75. Mar. 9 (45 n, Y.U), '81. Mar. 21 (60 n, Y.U), '81 Mar. 29 (Y.U)
22. " 飯谷	(Y.U)
23. " 朝日町田中	(Y.U)
24. 鮎江市川去	(Y.U)
25. " 橋立	(Y.U)
26. 吉田郡松岡町吉野	'76. ? (H.A)
27. " 西野中	'76. ? (H.A)

* H.A(朝倉外雄), J.E(榎本二郎), K.I(池崎和男), Y.K(近藤吉栄), S.S(阪本周一),
Y.U(上木泰男), T.M(松村忠祀), 福井県(1982福井県の鳥獣), J.S(斎藤仁), H.K(木股弘)
I.K(組頭五十夫), I.T(竜田勇), K.M(牧田活宜), S.N(野村悟志)

* F: Flyingの観察 * +: 確認羽数の概数 * Call: 声の確認例

* 名前の無記載記録は筆者の観察・確認による。

附表 1(2) 福井県におけるヒシクイの観察地籍及び年月日

地籍	年月日, 羽数 ⁽ⁿ⁾ , 確認者
I 坂井郡金津町細呂木	'67. Dec. 3 (30 ⁿ , 福井県), '82. Nov. 14 (F. 315 ⁿ , I.K)
II " 芦原町舟津	'80. Feb. 28 (40 ⁿ , F. ? 福井県)
III " " 駅前	'83. Sep. 30 (F. 5 ⁿ , I.T)
IV " " 藤木	'82. Nov. 28 (67 ⁿ , S.S)
V " 三国町石丸	'82. Oct. 26 (13 ⁿ , S.S), '82. Nov. 29 (6 ⁿ)
VI " 坂井町木部東	'82. Oct. 26 (13 ⁿ , S.S), '82. Oct. 28 (75 ⁿ , S.S), '82. Oct. 31 (113 ⁿ , S.S), '82. Nov. 5 (75 ⁿ , S.S), '82. Nov. 22 (230 ⁿ , S.S), '82. Nov. 28 (161 ⁿ , S.S), '82. Nov. 29 (20 ⁿ), '82. Nov. 30 (340 ⁿ , J.E), '82. Dec. 2 (132 ⁿ , J.E)
VII " " 高柳	'84. 2. 5
VIII 福井市殿下, 岡保, { " 曽万布, 板垣, } XI 六条	'60 (Y.K)

附表 1(3) 福井県におけるガン sp. の観察地籍及び年月日

地籍	年月日, 羽数 ⁽ⁿ⁾ , 確認者
A~B 坂井郡金津町嫁威, 柿原	'60 (Y.K)
C 坂井郡金津町宮谷	'60~'70 (H.A)
D " " 坂ノ下	'82. Nov. 16 (F. 90 ⁿ)
E " 芦原町井江葭	'82. Nov. 16 (F. 120 ⁿ)
F " 三国町覚善	'82. Dec. 1 (300 ⁿ , J.E)
G " " 川崎	(S.S)
H " 坂井町木部東	'81. Feb. 15 (17 ⁿ , T.M), '81. Mar. 6 (23 ⁿ , T.M), '81. Mar. 18 (T.M)
I " 春江町正善	'82. Dec. 13 (F. 13 ⁿ , J.E)
J " 丸岡町舟寄	'80. Mar. 5
K 福井市砂子坂	'84. Jan. 29 (30+, K.M)
L " 山室	'84. Feb. 28 (T.M)
M~N 福井市高柳, 新保	'60 (H.A)
O 福井市地蔵堂	'83. Mar. 4 (F. 50+)
P " 木田	'83. Jan. 31 (F. call), '83. Feb. 11 (F. 100+)
Q 丹生郡清水町杉谷	'82. Nov. 15 (F. 22 ⁿ)
R~V 丹生郡清水町島寺, 新保, 清水山, 真栗, 甑谷	'79~'80 (J.S)
W 武生市丸岡	'83. Nov. 15 (F. H.K)
X 南条郡今庄町広野	'84. Jan~Feb. (F. 100 ⁿ , S.N)